



みちくさ

2016. 5. 23 No. 24

「とっておきのご馳走」

「とっておきのご馳走は？」と聞かれたら、皆さんはどんな献立を想像するのでしょうか。飽食の時代と言われて久しいですが、名前も聞いたことの無いようなメニューが出てくるのでしょうか。

私が子ども時分の頃は、余り裕福な家庭ではありませんでしたが、それでも食べるのに困るといふほどでもなかったです。子どもの好き嫌いというのは、多分に母親の好みに左右されると私は思っています。うちの母はウナギが嫌いで、当然食卓にも上がることはありませんでした。高校生になる頃まで、恥ずかしいことにウナギを食べたことが無く、なんでこんな美味しいものを食べさせなかったのかと聞いてみたら、母の好き嫌いの影響でした。

このように、子どもの食に関係することは、家庭の影響が大変大きいと思っています。こんなことがありました。

小学生の頃、休みになると母の実家に遊びに行くことがありました。秋田市から汽車（電車ではありません）で1時間半くらいかけて横手市（冬のかまくらが有名ですね）まで行くのです。朝早いので、必ずといっていいほど、秋田駅で漫画雑誌と駅弁を買いました。駅弁は決まって幕の内弁当です。（まあそんなにメニューは多くなかったですね）うろ覚えなのですが、当時は150円くらいだったと記憶しています。「べんとお～べんとお～」と駅のホームで売りに来るのです。昔は外食をするということも無かったので、この駅弁が



とても楽しみでした。朝早いので駅弁も出来たてで、ほんのりと温かいのです。経木の蓋についてご飯粒をていねいにとって食べました。

その駅弁の中に入っていたおかずで、当時名前も知らない不思議なものがありました。外側はカリカリで、ハンバーグの生地の中にゆで卵が入っていて、そして縦に半分に切られているのです。これにソースをかけて食べると最高でした。そうです。この料理は「スコッチエッグ」と名前がついていることを、ずっと後で知りました。今はそんなに珍しい献立でもありませんね。むしろ、駅弁の中には入っているのは珍しいかも知れません。

「最期の時に何を食べたい？」と聞かれたら、スコッチエッグを選ぶと思います。子どもの頃の味覚というか、昔の楽しかった思い出が大きく膨らんだまま、ずっと記憶の奥に住みついているのです。

「小1生活・学習サポーターの皆様に感謝です」

入学式の日から、1年生3クラスにサポーターの皆さんに入っただき、毎日のようにいろいろ細々とした担任のお手伝いをさせていただいております。入学したばかりの1年生は、けっこう手がかかります。着替えひとつをとってみても、最初のうちは大仕事。ましてや給食の配膳や下膳となると、もう大騒ぎです。そんな時、担任の手の届かない部分を支援していただいているサポーターの皆さんの存在はとても大きいのです。

今年は7名の方々にシフトを組んでいただき、ボランティアで参加をいただいております。

実はこの事業が始まったとき、行政の担当課に勤めておりました。なんとといっても給食の準備が大変で、せめて一緒に給食を食べてもらえるようにと予算化し、はじめは5月の連休明けまで、そして徐々に7月の休み前までと期間を延ばしていきました。学校によって形態は様々ですが、導入した学校では、その効果に大絶賛でした。それだけ、1年生の指導には、担任は苦勞していたということです。今ではほとんどの学校でこの事業を取り入れていると思います。

保護者の方々や地域の方々には、学校のことや1年生のことを知っていただく意味で、大変いい機会になります。「1年生ってこんなにたいへんだったの?」「簡単なことが、子どもには上手くできないのですね」と、いろいろな声が聞こえてきます。学校の行事等にも一緒に参加していただくことで、サポーターの方々からは、「気持ち若返った」「自分の子どもを見る目が変わった」等といったうれしいご意見も寄せられます。

実は、この事業は、子どもたちにとっては親でも教師でもない、いわゆる「斜めの関係」といわれる地域や保護者の方と接することにより、叱られたり褒められたりしながら、適度の距離感をもって第三者と多様に接していくということを体験的に学べるいい場でもあります。

おかげさまで、1年生は毎日元気に学校に来ており、日々成長しております。28日の運動会では、たくましくなった1年生の姿を、ぜひご覧いただきたいと思います。

自転車の安全

町中でもヘルメットを着用して自転車に乗る大人の姿をずいぶん見かけるようになりました。怪我防止のため、最低でもヘルメットはかかせません。また、最近は自転車が加害者となる事故も発生しております。子どもの自転車用に保険をきちんとかけているご家庭も増えてきているようです。

中心部の学区のため、交通量も歩行者も多く、大変危険だと感じることも多いので、ご家庭でもご指導をよろしくお願いします。

